

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市川島地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

川島地域ケアプラザは川島東部地区と川島原地区、西谷地区の3地域を担当しています。3つのエリアを併せて(H28年9月データ)20,742名、世帯数は10,254世帯、高齢化率は26.7%となっており、横浜市の平均より高い数値となっています。保健活動推進員の協力を得て3地区合同でウォーキング事業の開催や、男性高齢者の地域活動進出の足掛かりとした男性調理教室ではヘルスマイトに協力を頂いております。また健康フェスティバルや文化祭にも地域の民生委員・児童委員や役員の方ボランティアに主体的に関わって頂くなど、地域の方々の協力を得ながら一緒に事業を展開しました。

・川島東部地区は帷子川流域の平地と国道16号を挟んで広がる丘陵部からなっています。神奈川区と旭区に隣接し、山坂が多くバス便など交通の便も良くありません。人口は若い世帯の減少がみられ高齢化も進んでいます。地域の町内会や老人会の活動は活発で、ケアプラザの紹介や介護予防体操、講座等のため定期的に5職種で活動しています。地域福祉保健計画では「あいさつで地域に広がる笑顔の輪」を標語として、地域の方々とのふれあいウォーキングを全町挙げて開催しました。ケアプラザが位置する地区でもあり、ケアプラザの事業(サロン・体操教室・歌、映画鑑賞)には地域の方の参加が多くあります。また貸室も利用され自主的に活動している団体も多くあります。高齢者食事会では毎回血圧測定し健康への意識づけを行いました。

・川島原地区は区北西部に位置し旭区と隣接しています。環状2号線が通っており、それにより地域が分断されています。陣が下溪谷やホテル観賞など自然豊かな地域でもあります。駅から遠く車やバス便が移動の手段となっており、生活圏が隣の旭区という地域もあります。出生数の低下はありませんが、高齢化率が33%以上と高く、精神障害者や認知症高齢者など困難ケースが多く、一人暮らし高齢者も多い地域です。民生委員協議会の定例会にも地域包括支援センター職員が毎回参加し、地域状況の情報共有を欠かさず行いました。地域福祉保健計画では円卓会議(くぬぎ台小跡地利用検討)のメンバーと重なる方も多いため、地域福祉を話し合う場と地域の問題を整理しながら進めました。29年度は地域課題を見据えて誰もが参加できる会の開催へと努めました。高齢者食事会では毎回出前講座として高齢者の健康や運動、脳トレーニングなどの講座を行い介護予防支援を行いました。ケアプラザ事業のサロンは旧くぬぎ台小のコミュニティハウスで、認知症の方や介護保険サービス利用者など地域住民に向けて地域ボランティア協力のもと毎月開催しました。健康測定や権利擁護事業もケアプラザに足を運べない方に向けて開催しました。

・西谷地区は国道16号と相模鉄道、東海道・山陽新幹線が通っており、西谷駅周辺の比較的平坦な地域と丘陵地のなかなか外出が難しい地域に分かれています。平坦な地域では商店街や診療所などが多くあり、特に西谷駅の平成31年度の相鉄・JR直通線と平成34年度の相鉄・東急直通線の開業予定にて都内とも直通となり駅周辺の開発や人口増加など大きな変化が見込まれています。地域には公民館など住民が集える場がなく西谷地区センターや地域の農家の畑や公園が交流の場となっています。介護予防教室やサロンなどの場に参加する機会が少ない高齢者も多くいるため、高齢者食事会や老人会の集まりに積極的に5職種で出向きミニ体操教室や認知症予防講座を行いました。保健活動推進員主催の集会では健康講座「高齢者の元気生活」を、おれんじド

ンキー主催の講座では横浜市の健康寿命日本一を目指し「生活習慣病の予防」の講座を行い介護予防に努めました。西谷商店街での西谷フェスティバルに毎年参加しケアプラザの周知と健康促進に取り組み、また世代別にアンケートをとり地域の声を事業に反映させました。

川島地域ケアプラザでは今年度も積極的に地域に出向き、ケアプラザの周知や関係者との関係づくりを行い、ネットワーク構築と包括的ケアシステムの構築に努め連携強化を図ることが出来ました。

(2) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

1. 地域の民生委員会議や、地区社協、老人会、地域自主活動団体に出向き、出前講座「メッセンジャー川島」を精力的に実施しました。生活に関する情報提供や運動・体操、ケアプラザの役割や各事業の周知を行い相談しやすい関係づくりを強化しました。
2. 地域に積極的に出向くことで地域の各機関から気軽に相談を受け、区と連携しながら支援の方向性を示すことが出来ました。
民児協の会議では高齢者だけでなく、精神障害者や子どもに関する相談や互に情報交換しました。障がいに関する相談も多くあり、民生委員ケマネジャー連絡会では障がい者理解の研修を行いました。また小学校の福祉学習や中学校で認知症サポーター養成講座等関係機関と連携しながら事業を行いました。
3. 地域の商店や金融機関、交通機関などと顔の見える関係づくりのため「川島見守りほっとライン」、「川島 SOS ネットワーク」の協力依頼を実施し、特に今年度は川島見守りほっとラインを川島東部地区・川島原地区・西谷地区の連合町内会に協力して頂き、啓発チラシを回覧・町内掲示板に掲示しました。また西谷地区はチラシを全戸配布、川島原地区は社会福祉協議会広報誌一面に掲載して頂きました。

(3) 各事業の連携

1. 1ヶ月に1回5職種の定例会議をもち情報は絶えず共有し合い、必要時には話し合いの場を作り互に協力し事業に活かしました。
2. 生活支援コーディネーターを中心に5職種が積極的に地域に出向き地域の情報収集を行いました。地域アンケートはより地域住民のニーズを把握できるよう、世代別など工夫しながら行いました。より地域に密着した内容の事業を5職種で検討しながら開催しました。
3. 事業については目的や実施内容などを適切に評価し合い、効果的・効率的な方法を5職種で検討し合い事業提供しました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

1. 年当初に研修予定を設定し、職員のスキルアップができるように毎月所内研修（個人情報保護・倫理・接遇・苦情対応・認知症・緊急時対応・事例検討会）を計画的に開催しました。職員個々の課題に応じた相談対応研修、必要に応じて個人情報研修を定期研修だけでなく所内の会議などで適時行いました。
2. 所外研修で所内に必要な内容は伝達講習会として研修、事例検討会でヒヤリハットの勉強を行い、発表の場を職員が体験し更なる資質向上を図りました。
3. 職員の就労意欲を高めるスローガンの策定と評価を継続実施しました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

1. 地域の地区社協の定例会議や民生児童委員定例会など毎月参加し、連合町内会運営委員会、保健活動推進員やヘルスメイト、おれんじドンキーの会議にも参加させてもらい関係機関の方々と情報交換を行い、更に連携を強化しました。
2. 西谷商店街フェスティバルに参加し、西谷地域の方々と協力関係を築き、ケアプラザの周知と健康に対する啓発活動を行いました。
3. 小学校の生徒への福祉学習では事前に学校のカリキュラムのもとに、学年教師と協力しながら学年ごとの福祉学習支援（バリアフリー、視覚障害の方の暮らし、車いす操作方法・認知症の理解）を実施しました。
4. 今年度はケアプラザ3地区の保健活動推進員が合同でウオーキング事業を開催し、地域で連携してより地域の方の意向が反映できるように行いました。

(6) 区行政との協働

1. ほっとなまちづくりの活発な運営を目指して、支援チームと協力し懇談会の運営を支援しました。
2. 地域ケア会議や地域の会合参加と独自の地域アンケート等で、地域情報を把握し地域ニーズに沿って活動しました。
3. 認知症高齢者支援、SOS ネットワーク、虐待予防、子育て支援等、行政の関係機関と連携し、専門性を活かして的確に支援しました。区地域担当とたえず連携をとりながら地域の相談窓口として、情報の共有・連携と的確な支援を行いました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

1. 健康フェスティバル 200 名以上、川島文化祭 800 名以上という来場者数実績と、地域支援者からは担当した係について事後に積極的な意見を出して頂くことができました。6 月は健康、11 月は文化祭という流れの認識が地域役員始めとする住民へできています。来場数が増えている子育て親子層も楽しめるという視点で、多世代で参加しやすい地域の祭りとして次年度へ向けてさらに内容見直しを行っています。
2. 後方支援事業すまいるフォークダンスでは地域住民でつくるフォークダンスの会を目指し、出欠の確認、会場片づけなどを参加者が行いました。貸室団体登録を行い、自主化など 4 月以降も地域に根付いた活動を行ってもらえるよう支援したところ、4 月より貸室登録団体として継続活動決定しました。
3. 小中学生、15～19 歳、20～59 歳の 3 段階で世代別暮らしのアンケートを実施しました。西谷フェスティバル、川島文化祭月間で実施し、合計 350 名以上の回答が得られました。世代に応じたニーズをまとめ、今後の事業計画に生かします。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

1. 川島地域ケアプラザ区域内の地区社協の会合や講演会、ほっとなまちづくり懇談会、保健活動推進員の会議等に貸室を利用して頂き、活動会場として定着しています。地域の子どもの活動団体は登録更新し、親睦会などの行事に役立ててもらっています。親世代へのケアプラザ事業の周知を含め、今後さらに良い関係づくりを行う様努めました。
2. 貸室について個別の問い合わせが多くあり、そのたびに対応するため貸室利用相談会としては実施しませんでした。貸室利用には福祉保健目的かどうかの聞き取り

強化しており、ケアプラザ本来の貸室のあり方を周知できるよう働きかけを個別に行いました。

3. 詩吟の会を地域住民集いの場として立ち上げることを目指し、お試しとしての自主事業を企画したところ、10名以上の参加希望がありました。講師予定者の体調不良により直前で実施に至りませんでした。特技を生かし地域住民の交流を図るための活動をしたいという申し出に対する相談は継続し行ないました。
4. 健康フェスティバルでは体操系、文化祭では文化系の貸室団体へ活動の場提供の声掛けを行いました。声掛けを行ったそれぞれの会の中でも参加が恒例化しており、今年はどのようにしようかと熟考され練習を重ねたうえで発表に臨まれたようです。活動発表者にとってもさらに期待感の持てる企画となるよう今後も検討していきます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

1. ボランティア登録会での加入も含め今年度新たに9名のボランティア登録がありました。うち6名が男性という結果、普段から男性対象事業に参加されている方の登録が多くありました。ケアプラザに通っているうちに、自分にもできることもあるのではと思ってもらい、意識の変化を確認することが出来ました。
2. ボランティア登録の聞き取りの中で、図書整理希望のボランティアの方がおり定期的活動を依頼しました。図書が見やすく整頓され貸出図書目的での来館者もあり、ボランティアの意欲につながっているようです。広報においても活動をアピールしました。児童図書の貸し出し増加や、若い世代の来館につながっています。
3. 「地域支援者交流会」は、日頃の地域支援への感謝の気持ちを伝えることと、参加者同士の活動共有を目的として5職種で話し合いを重ねました。地域で活動する団体の活動紹介や活動に生かせる手遊びなどの伝達等、参加者にとってより有益なものとなるよう計画し実施に至りました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

1. 地域支援者情報誌「つながるほっとページ」を改編担当の生活支援コーディネーターと収録団体の内容を共有できるよう、情報交換を行ったり貸室団体の利用状況を伝えるなど作成にむけて協力しました。
2. 既存の「つながるほっとページ」を地域への紹介を強化した。広報に取り上げ、改編に向けて活動中である旨を伝え、次号への期待感を高められるよう働きかけ、3月開催の支援者交流会で配布しました。
3. 「地域支援者交流会」では生活支援コーディネーター作成の活動団体聞き取りシートによる情報共有を職員間で十分に行い、参加者へ団体の活動を十分に伝えられるように準備し、参加者に満足いただくことができました。
4. 世代別暮らしのアンケートでは、小中学生は「ケアプラザとして地域の小中学生と関わっていくために興味のあることを知る。」15歳～19歳は「地域にどのくらい愛着を持っているか知るために記述式回答を織り交ぜる。」20歳～59歳は「地域の範囲の捉え方や、その地域での過ごし方を知り、共に地域を活性化するための接点を見つける。」という世代別目的を持って実施しました。その着目点で考察し、次年度の事業計画につなげました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

1. 地域住民へ生活支援体制整備事業の必要性を理解してもらう
地域住民によるサロンや体操教室などの活動の場、延べ54ヶ所に出向き、生活支援コーディネーターのパンフレットを配布、周知を行いました。また、包括職員と共に地域役員の会合にも出向き、地域での見守り活動、地域住民への周知に理解を得ることができました。
2. 総合事業サービスの開発を見据えた既存のインフォーマルサービスの把握
地域住民による活動の把握は「つながるほっとページ」の更新作業を代表者に理解頂いた上で聴き取りを行いました。得た情報は5職種で共有しています。要支援者の受け入れ体制については、聴き取った情報から判断し可能であれば説明を行う準備をしています。
3. 生活支援コーディネーターとして地域支援者と関わりが持てるようにする
地域支援者へは、ケアプラザが出張事業を実施していることを周知し、生活環境の課題として、健康についての相談が多くありました。これに対応して、包括職員と活動場所に出向き健康測定や体操を実施しました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

1. 地域の日常生活の環境を把握し、小地域毎の地域アセスメントを行う
地域住民に向けたアンケートを5職種で内容の検討を重ね、日常生活、健康、ボランティア活動を調査項目とした「暮らしのアンケート」を作成、実施しました。317名の回答を得ることが出来ました。結果を5職種で分析し、生活環境、ニーズの把握を行い、活動・支援に活かしました。
2. 地域に関する情報の見える化及び地域住民に対し、分かりやすい情報提供
地域支援情報誌「つながるほっとページ」に新たに活動写真、参加者コメント、体験談を掲載するため、活動の場に出向き、聴き取り等を重ねて更新作業を行いました。ケアプラザ貸室団体へも積極的に声かけを行い、新規団体の掲載を行い、情報量を拡大することができました。

(3) 連携・協議の場

1. 地域活動支援者との顔のみえる関係づくり
地域活動の場や地域役員会合の場、防災訓練、祭り、高齢者給食会等の地域イベントの手伝いなど地域活動支援者と関わる機会を有効に活用することができました。
2. 地域における住民の関係、ネットワーク等の全体像の把握
「地域支援者交流会」を実施した。つながるほっとページの紹介と共に掲載している団体の活動を1団体ずつ紹介し情報提供を行いました。また、地域支援者同士が情報交換できる時間を設けネットワーク構築に繋げることができました。
3. 地域支援者、団体のネットワークの基盤づくり
精神障がい者への対応について協議体を実施しました。多くの地域住民の見守りが必要であるという意見から、「見守りほっとライン」を軸として地域住民へ周知するちらしを作成しました。地域役員の会合等で配布し、周知の協力依頼を行いました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

1. 広域の地域課題を抽出し、地域住民へ周知するツールの作成
「暮らしのアンケート」「地区概況シート」「なるほど統計集」などのデータを元に5職種で課題抽出を行いました。地域住民向けのツールの作成は今後検討していきます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

1. 包括域の地域ケア会議を2回実施し、自治会、民生委員や地域の商店などの関係機関の方々と地域の課題に対し話し合いを行いました。そこから地域で支え合うネットワーク構築を目指す一環として「川島見守りほっとライン」のチラシを作成し、地域住民へ周知・啓発を実施しました。
2. 生活支援コーディネーターが地域の要望に応じ、出前講座メッセンジャー川島につなげ、介入したことのない地域のサロンや老人会に出席し、なかなかケアプラザに来られない・もしくは知らない方々に周知を図ることが出来ました。

② 実態把握

1. メッセンジャー川島により地域の会合等に出向き、地域の現状や問題点について積極的な情報交換を実施し、地域の実態把握を行うことが出来ました。
2. 昨年に引き続き、地域住民への暮らしぶりのアンケートを実施。生活の不安や健康に関する項目に関し評価し、「川島元気塾」の事業につなぎました。
3. 各地域の社協定例会や民生定例会に出席し、情報交換を実施、また必要な情報を提供することが出来ました。また気になる方や地域の課題について話し合い、実態把握を行うことが出来ました。

③ 総合相談支援

1. ケアプラザを地域住民に身近な相談機関として周知啓発を継続的に実施しました。メッセンジャー川島を積極的に行うほか、地域で気になる方がいたら気軽に地域ケアプラザへ連絡いただけるよう、地域見守りほっとラインの普及啓発のためのチラシを作成し、地域住民への普及啓発を行いました。
2. それぞれが点で関わるのではなく、それぞれの関係機関が線となり支援していける関係機関と気軽に連携できるよう、地域ケア会議や多職種連携会議などの事業展開を行いました。
3. サービスの必要性はあるが繋がらないような方もしくは家庭に対して、定期的な見守りのため声掛けを実施しました。「川島お便りコール」切れ目のない支援を提供し、対象者との信頼関係を築くことが出来ました。
4. 権利擁護関連の講座や相談にて積極的に声かけを行い、何か困りごとがあれば相談できる関係を築くことが出来るよう努めました。
5. 包括支援センター内でケースの情報共有や支援の方向性を確認し、精神障がいや認知症の周辺症状で対応が必要なケースについては職員全体で協議し、対応出来るように方針を定めることが出来ました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

1. 地域住民に向けた成年後見制度はじめ将来の備えのための制度、サービスに関して講演会を高齢化率が高い地域で実施しました。終了後は行政書士の方による相談会を開催し、将来の不安や悩みの解消の一助となりました。
2. 消費者被害に関しては警察や金融機関等と連携を密にし、最近の犯罪傾向をメッセージャー川島や自主事業の短い時間でも情報提供することができました。

② 高齢者虐待への対応

1. 民生委員は民事協の定例会、ケアマネジャーはサロン「川島さくらんぼ」にて高齢者虐待の早期発見の必要性と連絡系統の説明を実施しました。
2. 虐待ケースに関しては区役所や関係機関と支援の方向性や役割分担を明確にし、変化が起こったらすぐに対応できるようにしました。

③ 認知症

1. 徘徊者のためのSOSネットワークの新規協力機関は2件、登録者は5名、発動件数は1件ありました。さらなるネットワーク事業の発展を目指します。
2. 29年度は新たに老人クラブ向けの認知症サポーター養成講座を開催し、身近に支え合っている高齢者に認知症の方の見守り・支え合う必要性について周知啓発を行いました。また川島小6年生と西谷中3年生にも認知症サポーター養成講座を行い、認知症の方への接し方などを学んで貰いました。
3. 地域住民に向けて「地域見守りネットワーク」のチラシを配布し、何かあったらケアプラザへ連絡いただけるよう周知・啓発の活動を行いました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

1. 地域住民や関係機関等へ「地域見守りホットライン」普及啓発のチラシを回覧・掲示・配布を依頼し、地域全体で見守り支えていくよう協力し連携を強化しました。
2. 民児協や地区社協の定例会に参加し、地域の情報を共有し相談出来る関係を構築することができました。
3. 地域に精神障がいの方の相談も多く「精神障がいの方の理解と関わりの事例から対応方法を考える」の講座を民生委員とケアマネジャー連絡会で開催し、協力体制強化を図りました。また「薬について学ぼう」では演習等で互いに交流を図ることが出来ました。
4. 地域住民に向けて健康講座を行い、毎月医師より医療や健康に関する情報提供しており、地域の方々の知識向上支援と介護予防を図ることが出来ました。

② 医療・介護の連携推進支援

1. 川島地域ケアプラザ単体で多職種連携会議を実施し、医療・連携と協力体制を構築のため「ALSの方の事例をもとにグループワークと事例の振り返り」を行いました。また医療・介護の関係作りとして地域のケアマネ連絡会等で研修を開催し、ケアマネジャーと医療の協力体制がとれる様な場を設けることができました。
2. 地域ケア推進の為、地域の居宅介護支援事業所や地域の医療機関へ年2～3回の訪問を行い、連携し合える関係づくりに努めました。

③ ケアマネジャー支援

1. ケアマネサロン「川島さくらんぼ」を定期開催し、困難事例等の悩み事相談、意見交換、介護保険制度の情報提供等を行うことができました。
2. 居宅介護支援事業所を訪問し、ケアマネジャーと協力体制を作り情報の共有をすることができました。
3. ケアマネジャーからの個別相談時は、支援困難ケース等の後方支援を行いました。
4. 区・包括全体の勉強会・研修会を区内合同で企画実施し、質向上とスキルアップを図ることが出来ました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

1. 個別地域ケア会議を2回、公営団地の方のケースをもとに見守りや緊急時の対応について関係機関が会し、意見交換を行いました。意見を出しやすい様に雰囲気づくりや身近な事例をもとに行うことができました。
包括域地域ケア会議を2回開催し、「精神疾患の方に体する具体的な取り組み」、「地域見守りネットワークの推進」として地域で支え合い、地域で見守りあう必要性についての意見が多数出て、「地域見守りほっとライン」の作成につながりました。
2. 多職種連携会議ではケアプラザ単体と区・医師会・包括支援センター合同で開催しました。各職種より積極的な意見交換ができ地域包括ケアシステム構築に向けて取り組むことが出来ました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

1. 継続して「川島さくらんぼ」を開催し、介護予防ケアマネジメントが適切に行える様に情報提供や個別の相談対応することができました。またH30年4月からの介護保険制度改正についても情報提供を行いました。
2. 生活支援コーディネーターと協力してケアマネジャーに生活支援体制整備事業の情報を提供し、業務に役立てるよう努めました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

1. 生活支援コーディネーターと連携し、地域のグループ活動を訪問、現状把握を行いました。
2. 介護予防事業である体操・ヨガの教室を2年間とし、さらなるステップアップ及び自主活動推進の為、自主事業の体操・ヨガ教室へと移行支援を行いました。
3. 住民同士が身近な場所で介護予防に取り組む環境の提供の為、ハイム向台にて体操教室を実施しました。
4. 体操教室は女性参加が多く参加しづらく継続しにくいとの意見が多くあり、男性限定の体操教室を実施しました。
5. 口腔機能・生活習慣病にフォーカスし、健康塾を4回実施し、口腔機能や生活習慣病についての知識を取得し、予防対策を学ぶことで健康意識を高めることが出来ました。

5 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

施設管理の保守メンテナンスの業務委託契約を行い、適切に管理しています。毎月1回職員による施設清掃を実施し施設の状態を確認するなど施設維持管理を行いました。

(2) 効率的な運営への取組について

5職種会議やリーダー会議、運営会議を毎月1回実施し、また毎朝のミーティングを行うなど、サービスの質の向上と今後に向けての意見交換を行いました。地域の皆様からのご意見やアンケート結果等から事業内容の見直しを随時行い、地域のご要望に合った事業展開を行いました。

(3) 苦情受付体制について

館内に「川島地域ケアプラザ相談窓口・苦情対応窓口」のお知らせを掲示しています。ご意見箱を正面玄関と1階・2階の各部屋に設置しています。来館された地域の方の生の声をいただけるよう、いつでも自由に記載できるような環境としました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防犯マニュアル等が作成設置してあり、もしもの時に迅速な安全対応ができるように、平素から準備しています。防災訓練を年2回計画し、職員の防災に対する意識向上を図ると共に、マニュアルにそった対応ができるよう地域住民を巻き込み訓練しました。

(5) 事故防止への取組について

軽微なものも含め、全ての事故に対して迅速な報告・連絡を徹底し、報告書を作成し対応しています。具体策をマニュアルにも反映させ、マニュアルの改訂を行っています。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報施錠可能な場所に保管し管理をした。毎年個人情報研修を開催し、職員の個人情報保護に対する意識を高めました。

実際の個人情報が含まれる書類等については、施錠できる棚に管理し、ファックス利用時や郵送時は、ダブルチェックを徹底している。個人情報はサーバーにて管理しており、職員のみ活用できるようになっています。

事故と考えられる事例が発生した場合は、職員間で今後の対策を十分に検討し、徹底した管理ができるように改善していきます。

(7) 情報公開への取組について

川島地域ケアプラザ情報公開規定に則り、積極的に情報を公開し対応しています。ケアプラザの情報は、広報誌「リーベ川島」や区の広報を活用し、地域住民へ毎月情報提供しました。

(8) 人権啓発への取組について

認知症や精神疾患の理解を深めるために、外部研修に参加し、法人での勉強会、所内での研修会、伝達講習会を開催し職員の知識向上を図りました。

個人としての倫理基準として、個人の尊厳や守秘義務、人権の尊重について等、所内研修で意見交換をしながら人権啓発に取り組みました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

ごみにならないように再利用可能な商品を基本的に使用しています。ごみの分別を的確に実施し、ごみの減量化と環境保護に全職員で取り組みました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

社会福祉士	1名	
主任ケアマネジャー	1名	(H29年11月より未配置)
保健師	1名	
介護支援専門員(兼務)	1名	

《目標に対する成果等》

- ・可能な限り自立した生活が継続できるよう、ご本人の意思を尊重し、その人らしい生活の維持向上を図っていきけるよう支援しました。
- ・ご本人の状態にあった介護予防プランの作成を行いました。

《実費負担(徴収する場合は項目ごとに記載)》

- 実費負担はなし

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・関係機関と連携をとりながら適切なプランの作成を行いました。
- ・必要に応じて、インフォーマルサービスや地域資源の紹介を行い、ケアプランに取り入れ、包括的な支援を行いました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
151	158	159	159	161	164
10月	11月	12月	1月	2月	3月
176	168	169	162	171	162

●居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 常勤専任 2名
 常勤兼務 1名
 非常勤兼務 1名

《目標に対する成果等》

- ・ご本人様、ご家族様のニーズを受け止め、その人らしい生活ができるように支援を行いました。
- ・ご本人様の自立した生活を支援し、公平中立な立場で居宅サービス計画を作成するとともに、福祉サービスや医療サービスが総合的に提供されるよう、関係機関等の連絡調整を行いました。
- ・困難事例に対しても適切な支援ができるように、お互いのコミュニケーションや多機関との連絡調整を充分に行い、支援を心がけました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 実費負担はなし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・特定事業所加算Ⅱを算定取得しています。支援困難事例への専門性の高いマネジメントを提供できるように努めました。
- ・ご利用者様に向けて、広報紙「エスポワール」を年2回作成し、地域住民へ介護保険情報をわかりやすく提供しました。
- ・独自のアンケートを毎年実施し、より良いサービスの向上を目指しました。
- ・サービス向上の一環として、季節に合った手作りカードをお渡しすることで、コミュニケーションを深め、信頼関係を築くよう努力しています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
94	98	108	100	79	97
10月	11月	12月	1月	2月	3月
90	82	90	87	85	99

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - (要介護1) 円
 - (要介護2) 円
 - (要介護3) 円
 - (要介護4) 円
 - (要介護5) 円
- 食費負担 円
-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 （事業対象者） 円
 （要支援1） 円
 （要支援2） 円
- 食費負担 円
-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成29年度「横浜市川島地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,002,600	474,000	17,528,600	17,528,600	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	219,740	219,740	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	178,840	178,840	
印刷代	0		0	146,500	146,500	
自動販売機手数料	0		0	32,340	32,340	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	18,002,600	474,000	17,528,600	17,927,180	398,580	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,470,000	0	0	11,082,354	11,082,354	
本俸			0	7,162,774	7,162,774	
社会保険料			0	612,666	612,666	
手当計			0	2,943,527	2,943,527	
健康診断費			0	127,602	127,602	
勤労者福祉共済掛金			0	93,825	93,825	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0	141,960	141,960	
その他			0	0	0	
事務費	1,000,000	0	0	2,051,968	2,051,968	
旅費			0	8,016	8,016	
消耗品費			0	684,460	684,460	
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費			0	0	0	
通信費			0	545,378	545,378	
使用料及び賃借料	0	0	0	19,200	19,200	
横浜市への支払分	0		0	19,200	19,200	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0	568,934	568,934	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	21,156	21,156	
職員等研修費			0	6,000	6,000	
振込手数料			0	0	0	
リース料			0	44,366	44,366	
手数料			0	540	540	
地域協力費			0	60,690	60,690	
その他			0	93,228	93,228	
事業費	642,000	0	642,000	903,982	261,982	
運営協議会経費	42,000		42,000	18,059	23,941	予算：指定額
指定管理料充当 事業	600,000		600,000	885,923	285,923	
管理費	2,893,000	0	474,000	2,563,420	937,595	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	0	0	0	1,151,825	0	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	内訳が一致していません
水道料金			0		0	
清掃費			0	488,885	488,885	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	予算：指定額
機械警備費			0	445,371	445,371	
設備保全費	0	0	0	288,636	288,636	
空調衛生設備保守			0	35,835	35,835	
消防設備保守			0	153,577	153,577	
電気設備保守			0	34,128	34,128	
害虫駆除清掃保守			0	25,596	25,596	
駐車場設備保全費			0	39,500	39,500	
その他保全費			0	0	0	
共益費			0	0	0	
その他			0	188,703	188,703	
公租公課	997,600	0	997,600	886,588	111,012	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	997,600		997,600	886,588	111,012	
印紙税			0		0	この列は入力しない
その他 ()			0		0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	この列は入力しない
当該施設分			0		0	この列は入力しない
二一ズ対応費			0		0	この列は入力しない
支出合計	18,002,600	0	2,113,600	17,488,312	14,222,887	
差引	0	474,000	15,415,000	438,868	13,824,307	

自主事業費収入	600,000		600,000	0	600,000	予算：指定管理料に含む
自主事業費支出	600,000		600,000	885,923	285,923	
自主事業収支	0	0	0	885,923	885,923	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	32,340	32,340	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	58,700	58,700	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	26,360	26,360	

平成29年度「横浜市川島地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	22,876,000	336,000	22,540,000	22,540,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	150,000		150,000	150,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	155,847	5,633,153	5,633,153	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	168,200	168,200	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,500,000		1,500,000	1,500,000	0	
収入合計	30,315,000	491,847	29,823,153	29,991,353	168,200	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,210,000	0	0	21,849,804	21,849,804	
本俸			0	11,108,016	11,108,016	
社会保険料			0	2,072,644	2,072,644	
手当計			0	7,927,729	7,927,729	
健康診断費			0	86,000	86,000	
勤労者福祉共済掛金			0	259,875	259,875	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0	395,540	395,540	
その他			0	0	0	
事務費	825,000	0	825,000	1,548,492	1,548,492	
旅費			0	14,146	14,146	
消耗品費			0	169,706	169,706	
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費			0	0	0	
通信費			0	285,180	285,180	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	82,920	82,920	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	17,964	17,964	
職員等研修費			0	10,496	10,496	
振込手数料			0	0	0	
リース料			0	11,794	11,794	
手数料			0	10,864	10,864	
地域協力費			0	20,000	20,000	
その他			0	925,422	925,422	
事業費	1,689,000	0	1,689,000	1,390,113	298,887	
協力医	630,000		630,000	420,000	210,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	600,000		600,000	647,563	47,563	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	150,000		150,000	154,987	4,987	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	167,563	141,437	予算:指定額
管理費	1,591,000	0	126,000	681,410	249,229	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	0	0	0	306,181	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	内訳が一致していません
水道料金			0	0	0	
清掃費			0	129,955	129,955	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	予算:指定額
機械警備費			0	118,389	118,389	
設備保全費	0	0	0	76,724	76,724	
空調衛生設備保守			0	9,525	9,525	
消防設備保守			0	40,823	40,823	
電気設備保守			0	9,072	9,072	
害虫駆除清掃保守			0	6,804	6,804	
駐車場設備保全費			0	10,500	10,500	
その他保全費			0	0	0	
共益費			0	0	0	
その他			0	50,161	50,161	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	30,315,000	0	2,640,000	25,469,819	23,348,638	
差引	0	491,847	27,183,153	4,521,534	23,180,438	

自主事業費収入	1,059,000			168,200		予算:指定管理料を含む
自主事業費支出	1,059,000			970,113		
自主事業収支	0			801,913		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			10,500		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			10,500		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市川島地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入		17173		
	その他	9185	547	0	0
	受託事業収入		490		
	事業・負担金収入	5380			
	介護予防ケアマネジメント費	3805			
	その他		57		
	収入合計(A)	9185	17720	0	0
支出	人件費	5034	12432		
	事務費	281	469		
	事業費	141	77		
	管理費	914	54		
	その他	6402	0	0	0
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン委託料	6402			
	その他				
	支出合計(B)	12772	13032	0	0
	収支 (A)－(B)	-3587	4688	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 川島地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
ハッスル体操	概ね65歳以上の高齢者	334108	地活	77200		334108	0	
	386名		包括					
	200円		生活					
ビギナーヨガ	概ね65歳以上の高齢者	53456	地活	30600		53456	0	
	153名		包括					
	200円		生活					
ハイム向台体操教室	概ね65歳以上の地域住民	19277	地活	0		19277	0	
	31名		包括					
	無料		生活					
男の体操教室	概ね65歳以上の地域住民	0	地活	0		0	0	
	13名		包括					
	無料		生活					
あったかサロン ぬくぬく	地域住民	15703	地活	15500		15703	0	
	155名		包括					
	100円		生活					
クックGメン	地域の男性	37516	地活	14000		37516	0	
	35名		包括					
	400円		生活					
川島元気塾	概ね65歳以上の地域住民	95	地活	0		0	95	
	56名		包括					
	無料		生活					
川島健康づくり隊	概ね65歳以上の地域住民	4203	地活	0		0	4203	
	23名		包括					
	無料		生活					
川島健康づくり隊 フォローアップ事業	概ね65歳以上の地域住民	0	地活	0		0	0	
	25名		包括					
	無料		生活					
～介護者の集い～ やきいもの会	介護者	17349	地活	17600		0	17349	
	29名		包括					
	100円		生活					
男みがき塾5	概ね65歳以上の男性	31800	地活	16400		0	31800	
	82名		包括					
	200円		生活					
川島さくらんぼ	ケアマネジャー	7175	地活	0		0	7175	
	78名		包括					
	無料		生活					
多職種連携会議	医療、介護職	0	地活	0		0	0	
	51名		包括					
	無料		生活					
民生委員とケアマネ ジャー連絡会	民生委員、ケアマネジャー	8792	地活	0		8792	0	
	76名		包括					
	無料		生活					
合同ケアマネ連絡会	ケアマネジャー	7950	地活	0		7950	0	
	551名		包括					
	無料		生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 川島地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
ニコニコウォーキング	地域住民	330	地活	0		0	330	
	11名		包括					
	無料		生活					
認知症サポーター養成講座	地域住民	0	地活	0		0	0	
	351名		包括					
	無料		生活					
出前講座メッセージ川島	地域住民	18323	地活	0		0	18323	
	976名		包括					
	無料		生活					
健康測定&老い支度講座	地域住民	15082	地活	0		5082	10000	
	42名		包括					
	無料		生活					
ほっとホット茶屋	地域住民	31546	地活	39600		0	31546	
	680名		包括					
	100円		生活					
川島ハーモニー ドレミ	地域住民	73502	地活	65800		0	73502	
	843名		包括					
	100円		生活					
健康講座	地域住民	1580	地活	0		0	1580	
	144名		包括					
	無料		生活					
ぴーすらんど	子育て中の親子	7297	地活	0		6000	1297	
	549名		包括					
	無料		生活					
ぺこぽこ教室	子育て中の親子	133644	地活	0		133644	0	
	246名		包括					
	無料		生活					
室内スポーツ『ボッチャ』	身体に支障のある方と地域住民	4040	地活	0		4040	0	
	116名		包括					
	無料		生活					
がっこうのかえりDEHIPHOPDANCE	何らかの障がいを持つ小・中学生	66816	地活	0		66816	0	
	151名		包括					
	無料		生活					
すまいるぷらす 絵手紙教室	地域住民	8912	地活	1200		8912	0	
	8名		包括					
	300円		生活					
横浜いきいきポイント登録会	地域住民	0	地活	0		0	0	
	8名		包括					
	無料		生活					
すまいるフォークダンス	地域住民	0	地活	26400		0	0	
	132名		包括					
	200円		生活					
映画上映 シネマ川島	地域住民	510	地活	0		0	510	
	103名		包括					
	無料		生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **川島地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
こども夏休み教室	小学生	22300	地活	6400			5000	17300	
	49名		包括						
	工作300円料理200円		生活						
AED講習・避難訓練	地域住民	0	地活	0			0	0	
	33名		包括						
	無料		生活						
川島文化祭作品展	地域住民	0	地活	0			0	0	
	126名		包括						
	無料		生活						
川島文化祭	地域住民	236496	地活	0	97840		0	236496	
	830名		包括						
	模擬店購入費		生活						
福祉学習	川島小学校児童	0	地活	0			0	0	
	330名		包括						
	無料		生活						
川島健康フェスティバル	地域住民	133114	地活	0			10000	123114	
	204名		包括						
	無料		生活						
わら細工教室かめ	地域住民	1284	地活	1100			0	1284	
	21名		包括						
	無料		生活						
地域支援者交流会	地域活動支援者・ ケアプラザボランティア	6484	地活	0	0	0	0	6484	
	43名×1回		包括						
	無料		生活						
地域支援者情報誌発行	地域活動支援者団体	83646	地活	0	0	0	0		83646
	818名		包括						
	無料		生活						
地域後方支援事業	地域活動されている団体	0	地活	0	0	0	0	0	0
	92名		包括						
	無料		生活						
川島文化祭 音楽コンサート	地域住民	53526	地活	0	0	0	53526	0	0
	592名		包括						
	無料		生活						
区民まつり	保土ヶ谷区民	1194	地活	0	0	0	1194	0	0
	多数		包括						
	無料		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
川島さくらんぼ	<p>【目的】 ケアマネジャーとの情報交換、相談等を通して、現状の把握を行う。支援の場を定期的に設ける。</p> <p>【内容】 「川島さくらんぼ」は毎月1回定期的に開催し、ケアマネジャー同士の交流の場などを設けている。情報の交換、悩みや近況の報告などを気軽に話し合える場を提供することができた。</p>	毎月1回 第3金曜日 8月 1月以外 (年10回) 【予算】 5,000 【参加費】 なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同ケアマネ連絡会	<p>【目的】 テーマに沿った講演会、勉強会を通じてケアマネジャーのスキルアップを図る。</p> <p>【内容】 勉強会 研修会の開催 ケアマネジャー連絡会毎月開催 ケアマネジャーに対し、毎回さまざまなテーマの講演会や勉強会、交流会を実施。ケアマネジャー同士の交流の場にもなっている。</p>	4月(2回) 5月6月 (2回) 9月10月11 月12月計9回 (7月3月は各ケア プラザで開催) 【予算】 3,000 【参加費】 なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員とケアマネ連絡会	<p>【目的】 関係機関と連携し、地域に住む高齢者の見守り体制の強化と推進。民生委員、ケアマネジャーに向けて地域ネットワークの必要性についての講演会。</p> <p>【内容】 ・10月11日(水)「薬について学ぼう」 参加人数36名 講師：管理薬剤師 濱地 優作 氏 ・2月22日(木)「精神障がい理解かかわりの事例から対応方法を考える」 参加人数40名 講師：増子 徳元 氏 リンクよこはま訪問看護ステーション</p> <p>・「薬について学ぼう」ではクイズや演習を行い、互いの交流も促進された。 ・精神障がいの理解では自立生活を目指す当事者の方に体験談を話していただき、より現実的に精神障がいを理解することにつながった。</p>	年2回 7月3月の予定 【予算】 3,000 【参加費】 なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
多職種連携会議	<p>【目的】 医療機関とケアマネジャーとの連携が円滑に行えるように、連絡会等で意見交換や協力体制を整える。 ・地域包括ケアを進める為に医療機関との連携を積極的に進める。</p> <p>【内容】 ・ALSの方の事例をもとに多職種連携を円滑に行うための振り返りと「連携促進」に向けたグループワーク ・事例にかかわった当事者の方々がそれぞれうまく連携できた点の振り返りを行うことで参加者からの共感も強く、積極的な意見交換を行うことができた。</p>	前期、後期 2階開催予定 【予算】 3,000 【参加費】 なし

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい ～やきいもの会 ～	<p>【目的】 ・在宅で介護している介護者の方が集い、介護者同士の情報交換の場を提供し、今後の在宅介護の活力にしていこう。 ・それぞれの介護生活の現状を話してもらい、お互いの状況を把握してもらい。介護を卒業された方からは介護されている方に対し、アドバイスなど声掛けしてもらい。 ・介護や健康、権利擁護関連の介護者にとって有益となる情報提供や勉強会を開催し、今後の介護生活に活かしていただく。</p> <p>【内容】 毎回、違ったテーマで介護に関する情報提供や勉強会を行うとともに、介護者同士が気軽に話せるような交流会、懇話会を行うことができた。 ・参加人数は横ばい。総合相談で対応した介護者やケアマネジャーへ周知活動を今後も継続して実施していく。</p>	毎月第三火曜 年 8 回実施 【参加費】 100円／回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男みがき塾 5	<p>【目的】 ・退職後「外出が少なく、体が怠けている」、「特に趣味がなく家にばかりいて、人との交流が少ない」などおおよそ 60 歳以上の男性を対象に外出機会をつくる。 ・男性同士の交流を深める機会とし、仲間づくりのきっかけとなる。 ・健康・運動や趣味活動、ケアプラザの活動を知ってもらい、他の事業参加のきっかけとしてもらう。 ・参加者の自主性を高めボランティアへつながるようにする。</p> <p>【内容】 年間 11 回コースで運動、ウォーキング、ものづくりなどを通し、参加者同士の交流をはかった。参加者同士で自主的にウォーキングコースを考え実行したり、コーヒーの淹れ方講座を受けていただき、今後ボランティアにつながるようにした。</p>	開催随時 【予算】 30,000 【参加費】 200円／回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハッスル体操	<p>【目的】 ①全身の筋力の維持、柔軟性を高め転倒予防を図る ②体を動かすことや声を出すことで脳を活性化させ、認知症予防を図る ③地域の方々が交流できる場の提供</p> <p>【内容】 ①脳の体操（手指、足先を動かしながら声も出すという 2 つの動作を同時に行う） ② 座位・立位によるストレッチ ③ストレッチボールやセラバンドを用いて筋力トレーニング</p> <p>運動レベルは軽度、足腰の悪い方や軽度の認知症がある方でも参加可能なやさしめコース 2年コースとし、自主グループへの移行支援を行った。</p>	毎月1・3火曜 【講師代】 10,000円 【参加費】 200円／回 年間参加人数：延べ 372 名

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビギナーヨガ	<p>【目的】</p> <p>①はじめて運動を始める方への事業として、全身の筋肉維持や関節を柔軟にし、健康づくりや介護予防を図る</p> <p>②心と体のコリをほぐし、メンタルのバランスを整える</p> <p>③地域の方々が交流できる場の提供</p> <p>【内容】</p> <p>①座位にて呼吸法、上肢の筋肉を鍛えるポーズ</p> <p>②立位にてバランスや柔軟性を高めるポーズ</p> <p>③仰臥位にて瞑想、リラクセーションポーズ</p> <p>運動レベルは軽度、はじめてヨガを始められる方を対象としたやさしめのコース</p> <p>2年コースとし、自主グループへの移行支援を行った。</p>	<p>毎月第1金曜</p> <p>【講師代】 6,000円</p> <p>【参加費】 200円/回</p> <p>年間参加人数：延べ153名</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あったかサロン ぬくぬく	<p>【目的】</p> <p>①ケアプラザまで足を運べない方々が身近な場所で交流できる場の提供。</p> <p>②体を動かすことや声を出すことで脳を活性化させ、認知症・介護予防を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>①テーブルでお茶を飲みながら一息できる空間をつくり、歌や体操など参加者全員で楽しむ。</p> <p>②参加者が孤立しないよう話し相手のボランティアを配置し、声掛け等を実施し交流の支援を行う。</p> <p>③職員を2名以上配置し、自主事業の案内や参加者からの要望などを収集できる体制をとる。</p> <p>④男性参加者が少ない為、男性も楽しめるプログラムの検討が必要。</p>	<p>毎月第4月曜</p> <p>【予算】 15,000円</p> <p>【参加費】 100円/回</p> <p>年間参加人数：延べ201名</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島元気塾	<p>【目的】</p> <p>①介護予防に関する知識の習得</p> <p>②参加者自ら介護予防に取り組むためのきっかけづくり</p> <p>【内容】</p> <p>①高血圧予防講座、口腔ケア、ロコモ予防の分野で各2回実施。医師、歯科医師、歯科衛生士、音楽療法士、管理栄養士を講師に招き、各分野の知識を深め介護予防に取り組む機会を設けた。</p>	<p>年6回</p> <p>【予算】 80,000円</p> <p>【参加費】 なし</p> <p>参加人数：29人</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>【目的】</p> <p>①地域の方々に認知症について正しく理解してもらう。</p> <p>②認知症になっても地域の中で安心した生活ができるよう、認知症の方への対応のしかたについて考える機会を設ける。</p> <p>【内容】</p> <p>川島小学校、西谷中学校、老人クラブ向けの認知症サポーター養成講座を実施。</p> <p>①認知症に関する講話</p> <p>②認知症の方への接し方などの寸劇</p> <p>③参加者同士で考える時間を設け、認知症についての理解を深められるようなグループワーク</p>	<p>【予算】 5,000円</p> <p>【参加費】 なし</p> <p>【実施回数】 3回</p>

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域後方支援事業	<p>【目的】 ①地域の方々が健康づくり・介護予防のため継続して活動していけるように支援（情報提供や実技指導など）を行う ②地域の活動状況の把握（体操教室、茶話会、食事会、老人会など）</p> <p>【内容】 ①地域内で活動している場に訪問し、体操・レクリエーションの実施や体組成計などの健康器具を用いて健康チェックを行う。 ②地域の方々が継続して活動していけるように後方支援（情報提供や実技指導など）を行う。</p>	適宜 【予算】 なし 【参加費】 なし

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
川島健康づくり隊	<p>【目的】 ①地域の方々が健康で生きがいのある活動的な生活を送ることができるように、健康づくりや介護予防に取り組むグループを支援する ②地域の方々のグループ活動等をサポートできる人材の育成</p> <p>【内容】 健康指導講師より認知症予防のレクリエーション、転倒予防のストレッチの方法と体操教室の開催・進行方法の指導を受けた。 地域に出向き、活動中の地域グループの中で1日ボランティア体験をし、体験したことを参加者と講師で共有し次への活動に活かす。</p>	【予算】 35,000 【参加費】 なし 【実施回数】 4回 （内1回ボラ体験）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島健康づくり隊フォローアップ事業	<p>【目的】 川島健康づくり隊終了後も健康づくりに関する情報を収集し、継続して介護予防に取り組めるための場の提供。受講者同士の情報交換や交流の場。健康づくり隊受講後の活動発表の場の提供。</p> <p>【内容】 健康フェスティバルでの活動発表 過去に健康づくり隊で学んだレクリエーションや体験レパートリーの復習</p>	【実施時期】 6月19日 【実施回数】 1回 参加費用無し

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クックGメン	<p>【目的】 ①男性高齢者への外出の機会を設け社会参加を促す。 ②健康や栄養について学び、健康的な生活を取り戻す。</p> <p>【内容】 ヘルスメイト協力の元、材料分量表と工程表を配布し調理を行う。</p>	毎月第三木曜日 【実施回数】 9回 【参加費】 1回 400円

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハイム向台体操教室	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が自分の身近な場所で健康づくりがや交流が出来る場の提供 ・地域住民主体の継続的な交流及び健康づくりの活動に繋げる <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動レベルは軽度。足腰の悪い方や軽度認知症がある方でも参加可能のやさしめコース ・お茶のみサロン：健康体操終了後30分程度 <p>地域のニーズの把握や参加者同士の交流の場となった。</p>	<p>開催時期：7月 実施回数：2回 参加費なし</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の体操教室	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筋力を維持・向上し介護予防につなげる ・男性が介護予防に取り組むきっかけとなる場の提供 ・地域住民主体の継続的な交流・健康作りの活動に繋げる <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動講師による筋力トレーニング・ストレッチ ・立位による体操を取り入れ、男性が抵抗なく参加できるような内容であるように考慮する。 	<p>実施時期：未定 実施回数：2回 参加費なし</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ニコニコウォーキング	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進、介護予防 ・多世代交流 ・地域の名所や季節の草花に触れ、リフレッシュの機会を設ける <p>【内容】</p> <p>保健活動推進員の方がコースの草花や寺院の紹介をしていただき、紅葉もきれいに色づき好評で参加者同士の交流も活発であった。</p>	<p>実施回数：1回 参加費無し</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康測定&老い支度	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康意識の啓発と老い支度を考えるきっかけづくり ・川島地域ケアプラザの周知 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康測定と看護師による解説」 川島地域包括支援センター 看護職：相川あや ・「老い支度の必要性について」 講師：高橋亮太 行政書士 コスモス成年後見サポートセンター横浜中地区 <p>・測定など運営面でボランティアの方々にお手伝い頂き、スムーズに進行することができた。 ・川島ケアプラザへ地理的に来所することが大変な方々の参加が多く、好評いただいた。次年度も継続的な開催を検討。</p>	<p>実施回数：1回 参加費無し</p>

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座メッセンジャー川島	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民への生活・健康に役立つ上の情報提供 ・川島地域ケアプラザの周知 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の会合や集会に出張（介護予防、振り込め詐欺）などの情報提供。ケアプラザ周知 ・生活支援コーディネーターが地域のサロンや老人会からの要望を伺い、メッセンジャー川島につながったことが多かった。生活支援コーディネーターと同行することで地域の方々の生活状況の把握にもつながった。 	実施回数：38回 参加費無し

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとホット茶屋	<p>【目的】</p> <p>①地域住民が気軽に楽しく集える場を提供し、参加者同士が交流を深め、地域のつながりを広げる。②ボランティア活動者が地域住民へ活動を発表する機会を設け、ボランティア活動の活性化を図る。③参加者が共通の趣味活動を通して交流し、仲間意識を持った活動の場が広がるようにする。</p> <p>【内容】</p> <p>午前は①テーブルでお茶と茶菓子を飲みながら一息できる空間をつくり、一人での参加者が孤立しないよう話し相手のボランティアを配置し、声掛け等を実施交流の支援を行う。②ボランティアの発表の場としてボランティア活動支援を行うと共に、歌や体操など参加者全員で楽しめるよう環境づくりを行う。③職員を1名以上配置し、自主事業の案内や参加者からの要望などを収集できる体制をとる。④月1回誕生会を実施する。その月が誕生月にあたる参加者に参加者全員で歌とカードのプレゼントを行う。</p> <p>午後は⑤趣味活動の意向を参加者に伺い、材料の準備と実施できる環境を整え、多くの参加者が一緒に楽しめる場を継続的に提供できるようにする。また、作成した作品を地域住民に発表する場を設ける。⑥午後はフリースペースとして、昼食を食べたり自由に過ごしてもらおうスペースとする。</p>	4月～平成30年3月 月2回（第2・4火曜日） 計22回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島ハーモニー ドレミ	<p>【目的】 ①地域住民だれもが気軽に参加できる内容の音楽会とし、また、音楽を通じた地域住民の交流の機会をつくる。②地域住民が参加するだけでなく、活動の中で参加者が仲間意識を持てる場を提供し、また地域活動への意欲を引き出す。③心身に支障がある方や、外出の機会が少ない方が、気軽に参加し、地域とのつながりを持つ場を提供する。</p> <p>【内容】 ①季節感を歌から感じてもらうよう、毎月季節にあった曲、愛唱歌として、毎回唄う曲を講師に選曲してもらう。ピアノの伴奏にあわせて合唱する。歌詞カードを配布し、歌詞がわからない歌でも歌えるようにする。また、参加者からのリクエストの時間を設け、参加者の発言の場をつくる。②参加者同士が交流できるよう休憩時間を設ける。参加者同士が顔見知りの関係が築けるように、ボランティアや職員で初めての参加者やひとりでの参加者、要支援者などに特に気を配り交流の支援を行う。③事業の参加の意欲を高める為に、文化祭で合唱する方を募集し、出演する。曲は講師に選曲してもらい、9月から練習曲として取り入れる。④地域住民が参加するだけでなく、参加者が仲間意識を持って、会場設営など自分ができることをお互い様の気持ちを持って活動できる場となるよう支援していく。⑤要支援者のフォローや会場設営、歌詞カードづくりなどの活動のボランティアを募集し、職員はボランティア活動支援として事業に関わっていく。</p>	4月～平成30年3月 月2回（第2金曜・4 木曜日） 計21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康講座	<p>【目的】 ①地域住民に日常ありがちな病気について理解を深め、日常生活に役立つ情報を発信し、病気の予防、健康への意識向上を図る。②健康についての地域住民のニーズを探り、不安や悩みの解消をはかる。</p> <p>【内容】 ①毎月テーマを変えて講座を実施する。毎回アンケートを実施し、テーマが地域住民からの要望に答えるものとなるよう、アンケート回答をもとに検討していく。②資料をスクリーンに写し、視覚でも確認できるよう講義を行っていく③講義後、質疑応答の時間を設け、参加者からの意見や悩みに講師が対応する。また、質疑応答の時間では発言を控えたい方などの質問受付はアンケートで行い、次回実施日に講師が対応する。</p>	4月～平成30年3月 月1回（第2木曜） 計11回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ピーすらんど	<p>【目的】 ①子育て中の親子が気軽に集い、友達づくりや情報交換ができる場の提供。②子育てに不安があり、育児に悩む親への支援を行う。③子育て支援に興味を持つ地域住民のボランティア活動の場とし、地域交流等を図り、地域で子育て支援をする体制を形成していく。</p> <p>【内容】 ①親子が自由に時間を過ごせるフリースペースをつくる。②地域の保育園によるリズム体操を実施し保育園児と地域の親子が交流しながら一緒にリズム体操に参加できるようサポートをする③参加者が孤立せず、継続的に参加してもらえるよう、参加者同士の交流を促し、顔のみえる関係づくりに努める④地域や子育て支援関係機関から収集した情報を、必要とする親子に情報提供する。また、専門的な支援を必要としている親子を関係機関に繋げる。⑤ボランティアと親子が交流を図れるような体制を整え、ボランティアが充実した活動ができるようにする。</p>	4月～平成30年3月 月1回（第2水曜） 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぺこぽこ教室	<p>【目的】 ①身近な相談場所として、子育ての不安や悩みなどに対応し、支援を行う。②区役所子ども家庭支援課への情報提供、連携を行い、子どもの発達障がいの早期発見支援に繋げる。③子どもの状況に応じて発達支援を行い、生き生きとした社会参加を実現させる。④発達に障がいがある、または障がいの疑いがあるお子さんとその親の居場所づくり</p> <p>【内容】 親子と先生が遊びと音楽を通してふれあいながら、お子さんの発達の状況に応じて、お子さんの支援、親の相談対応を行う。反省会では、本日の進行の振り返りを講師よりコメントをもらいながら行う。また、参加者の子どもの発達状態について話合う。別途支援が必要と思われる子どもについては、講師に確認し、子ども家庭支援課へ情報提供を行う。</p>	4月～平成30年3月 月1回（第4水曜） 計12回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
室内スポーツ 『ボッチャ』	<p>【目的】 ①障がい者と地域住民との交流を図り、スポーツを通して相互理解の促進、障がい者の余暇の充実、社会参加の機会を増やすことを目的とする。②普段、スポーツに触れる機会が少ない障がい者や身体に支障を抱えている方を対象に無理なくスポーツを楽しんでもらう環境づくり、心と身体のリフレッシュと健康の支援を行う。③ ボランティアの活動の場として、活動の推進、ボランティアの育成を行う。</p> <p>【内容】 ①パラピック正式種目『ボッチャ』をチーム戦で行う。ルールを誰もが理解できるように工夫することで、気軽に参加できるようにする。また、当日の進行リーダーを参加者に1名に担ってもらい他の参加者からの要望を伺いながら、進行のプログラムを決める。②参加者に目的を持ってもらう為に、日頃の成果を発揮する場として年1回総合大会を開催する。③参加者でチームを組み、保土ケ谷区の大会に参加し、事業の周知と参加者の社会参加意欲の高揚を図る。④参加者の身体の状態を把握し、ボランティアとサポート体制の打合せを行い障がい者のサポート等を担ってもらう。⑤ボランティアに準備体操のインストラクターを担ってもらう。</p>	4月～平成30年3月 月1回（第4土曜） 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
がっこうのかえり DE HIP HOP ダンス	<p>【目的】 ①子どもの状況に応じて発達支援を行い、音楽を通して、生き生きとした社会参加を実現させる。②発達障がいを持つ子ども達が地域で安心して暮らせるよう地域住民の発達障がいに対する理解を促す。③発達に障がいがある、または障がいの疑いがあるお子さんとその親の居場所づくり④地域の小学校等と連携し、地域で見守る体制がつけられるよう教師と顔のみえる関係づくりを行う。</p> <p>【内容】 講師がダンスを通して発達障がいを持つ子どもとふれあいながら、お子さんの発達の状況に応じて、踊りの指導を行う。子どもが場に慣れるまでは、親にも一緒に参加してもらう。ボランティアも募集し、子どもの見守りを行っていく。※チラシ配布は小・中学校の個別級へ配布し、教師と顔のみえる関係づくりを行う。</p>	4月～平成30年3月 月1回（第4水曜） 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すまいるぷらす 絵手紙教室	<p>【目的】 ①地域住民が生活を豊かに楽しく過ごしてもらえるようする。②貸室活動団体が地域住民と繋がる機会を設け、貸室活動団体の人数増加や活動の活性化を目指す。③地域住民が共通の趣味活動を通して交流し、仲間意識を持った活動の場が広がるようにする。</p> <p>【内容】 貸室団体や地域のボランティア団体が講師となり、趣味活動の体験を行う。身体を動かしたり、手先を使うなどの内容を実施し、地域住民の趣向に対応する内容とする。（ダンス、楽器演奏、手芸など）体験後は貸室団体の紹介、活動参加を呼びかける。</p>	6月1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜いきいきポイント登録研修会	<p>【目的】 ①地域の高齢者の健康増進や介護予防、社会参加や社会貢献を通じた生きがいづくりとしてボランティア活動を促進する②新たにボランティア活動を開始するにあたり「よこはまシニアボランティアポイント事業」の制度の概要や活動の心構えなどを理解してもらう③ケアプラザでのボランティア活動の周知と活動促進</p> <p>【内容】 いきいきポイント制度を利用するための必要な説明会を身近な場所で行う。また、ケアプラザの活動の周知を行い、ボランティアとしての参加を促す。</p>	6月、1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すまいるフォークダンス	<p>【目的】 ①地域住民主体の貸室登録団体として参加者同士協力しあい自立して活動できる場をつくる②地域に新たなコミュニティーを作り、継続的に活動できる場をつくる③趣味活動を通して、心身共にリフレッシュし、健康維持、増進を目指す</p> <p>【内容】 役員中心に役割分担を行い活動を参加者自らで行ってもらおう。フォークダンスの進行は講師にお任せし、参加者の様子をみながら曲に合わせて指導を行ってもらおう。ケアプラザ職員は自主化に向け、活動のサポートを行っていく。</p>	毎月第4火 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
映画上映 シネマ川島	<p>【目的】 ①地域住民の方に身近な場所で、余暇を楽しんでもらう機会をつくる。②今まで、ケアプラザを利用したことない方に足を運んでもらい、ケアプラザの周知を行う。</p> <p>【内容】 映画上映とその前後にケアプラザの周知を行う。</p>	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども夏休み教室	<p>【目的】 ①夏休みの思い出としてもものづくりを行い、子どもたちに、ものづくりのおもしろさを知ってもらうことを目的とする。②子どもたちの安全で安心して過ごすことのできる居場所としてケアプラザの周知を行う。③地域住民や異学年との『交流活動』により日常において挨拶を交わせるよう顔見知りの関係を築く。</p> <p>【内容】 小学全学年楽しめる内容とする。①科学を楽しんでもらいながらくるくるモーターを作成する。講師は地域の支援者に依頼した。②お料理教室をヘルスメイトの協力を得て実施する。</p>	8月、2回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
AED講習会・避難訓練	<p>【目的】</p> <p>①ケアプラザを安心して利用してもらうために避難経路を利用者に知ってもらう。②地域住民と職員と一緒に訓練を行うことで実際の災害時に備えた訓練にする。</p> <p>【内容】</p> <p>参加者に避難経路の周知を行う。参加者と職員と一緒に調理室からの出火を想定した避難訓練を行い、火災に備える。ファーストエイドやAEDの講習を行う。</p>	9月、平成30年3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島文化祭作品展	<p>【目的】</p> <p>①芸術に興味を持つ方に足を運んでもらい、ケアプラザを拠点とした新たなコミュニケーションを形成する機会をつくる。②地域住民の活動を展示することで、地域の魅力として地域を盛り上げ、一体感をつくる。③地域住民の作品を紹介すると共に地域資源の発掘を行う。</p> <p>【内容】</p> <p>地域住民の作品を募集し、約2週間展示を行い、開館時間内、常時拝観できるようにする。出展者からのメッセージ、PRなどを作品と共に展示し、活動の周知を行う。出展者には、必ず展示会場案内係りをボランティアとして担ってもらい地域住民との交流の場を設ける。</p>	11月、1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島文化祭	<p>【目的】</p> <p>①ケアプラザの貸室利用団体の活動の場を提供し、活動周知を地域住民に行う。②芸術に興味を持つ方に足を運んでもらい、ケアプラザを拠点とした新たなコミュニケーションを形成する機会をつくる。③地域住民の作品や活動を紹介しますと共に地域資源の発掘を行う。</p> <p>【内容】</p> <p>2週間に渡り実施した作品展・地域アンケートの最終日の事業として模擬店、貸室団体の活動の周知の場として地域コンサートを実施する。また、事前に地域役員との内容検討会を行い地域住民の意見を取り入れた内容を検討する。継続して地域の福祉保健団体や地域住民にもボランティアとして参加してもらい地域の協力を得た祭りとする。子ども向けにも趣向を凝らし、多世代が参加できる内容とする。</p>	11月、1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島文化祭 音楽コンサート	<p>【目的】</p> <p>音楽を通して来館のきっかけづくりとなるよう。また音楽に親しみ、地域の方へ楽しみを提供すること</p> <p>【内容】</p> <p>音楽会を開催し地域住民に楽しんで頂く本場のフラメンコをプロの方に披露してもらい、身近な場所で見賞し 一緒にリズムに乗り共有してもらった。</p>	11月5日 1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康フェスティバル	<p>【目的】 自己の健康状態を確認すると共に健康に対する意識、関心をもってもらおう</p> <p>【内容】 いずれも子どもから高齢者まで体験してもらえる内容。プログラムを参加者に配布する。地域のボランティアに各コーナーの担当を担ってもらおう。</p>	6月24日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉学習	<p>【目的】 地域の小学生に①福祉への関心を高め、福祉活動に対する自主的な態度を培ってもらおう②ケアプラザ職員等との交流を通じ地域の高齢者や身近な人々のふれあいを広げ思いやりの心や優しい心を持ってもらう</p> <p>【内容】 地域の小学校での人権週間内で、ケアプラザ職員が学年に応じた福祉教育を1時間ずつ行う。学校の人権教育目標を達成する一助となるような内容を工夫する。また、ケアプラザは福祉施設であること、誰もがそのよりどころにしてよいことなども知らせる場とする。</p>	11月下旬～12月初旬 回数 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区民まつり	<p>【目的】 保土ヶ谷区民へケアプラザの周知と各関係機関との顔の見える関係づくり</p> <p>【内容】 保土ヶ谷公園にてケアプラザでブースを設け 各ケアプラザの活動を周知する ケアプラザでの自主事業のチラシの配布と地域の方々との交流</p>	<p>【開催時期】 毎年10月 実施回数 1回 参加費無し</p>

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援者交流会	<p>【目的】</p> <p>① エリア内の自主活動グループやケアプラザで活動するボランティアがお互いの親睦を図り、今後の活動に活かすことができる情報交換を行う場の提供。</p> <p>②地域活動支援者にケアプラザの機能・支援について知ってもらう。</p> <p>【内容】</p> <p>(1)活動内容が類似している支援者同士で席を設け、グループ内で自由に情報交換、交流を図った。(2)参加団体の活動を「つながるほっとページ(案)」を元に参加者に活動についてインタビューし参加者全員で情報共有した。(3)参加者には情報冊子「ほっとページ」の内容を確認してもらった。(4)アンケートを実施し、事業に対するご意見、自身の活動について情報収集を行った。</p>	H30. 3. 23 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援者情報誌発行	<p>【目的】</p> <p>①生活支援・介護予防の体制整備活動として、地域の活動情報を収集し、地域住民への情報提供のツールを作成する</p> <p>②地域活動支援者及び活動に参加している地域住民との顔の見える関係づくり③地域住民に向け生活支援体制整備事業への理解促進④地域ケアプラザの業務や自主事業の周知</p> <p>【内容】</p> <p>①地域支援者情報誌「つながるほっとページ」の第4版発行のための情報収集を行う。② 既存の団体の活動の場に出向き、第4版の掲載内容に沿って聴き取りを行う。</p>	H29. 4月～H30. 3月 54回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わら細工教室 かめ	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりを通じた交流 ・地域のボランティア活動周知 <p>【内容】</p> <p>地域住民対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほどがや元気村指導でわら細工 ・ほどがや元気村の活動をお話し 	1月 1回